

# 理事長基本方針

2015年度理事長 吉尾 甲介

私たちはJCとして、またJAYCEEとして大切なものをどこかに忘れてきてはいないでしょうか。

著しく社会の環境が変化する現在においても、青年会議所の創始の精神には何ら変化はありません。それでは今、私たちはどのような運動を起こすべきなのでしょう。その答えを知るには、会員一人ひとりが青年会議所の創始の精神や歴史、存在意義を学ぶことが必要です。そして、それをすべての会員が理解してこそ、豊岡青年会議所が起こす運動は、本当の意味で青年会議所運動となるのです。

確かな明日が見えない混迷した1951年、「新日本の再建は我々青年の仕事である」という覚悟のもと日本青年会議所は設立されました。永い年月の中で、その時代にあった明確な運動指針を掲げ、「明るい豊かな社会」の実現へ邁進してきました。そして、1961年、豊岡青年会議所は誕生し、今年で創立54年目を迎えます。先輩諸兄の「英知と勇気と情熱」が詰め込まれた活動の積み重ねにより、私たちの愛するふるさと豊岡は、素晴らしい発展を遂げてまいりました。これからを担う私たちも過去を振り返り、敏感に今を捉え、論ずるのみならず力強く歩を進め、豊岡の発展と活性化に貢献する事で、この地に住み暮らす青年経済人として「明るい豊かなふるさと」の実現を目指していかなければなりません。

## Spirits of the JAYCEE

### 妥協なき「今」

本年度はこの言葉をスローガンに掲げます。

「今」を改めて見つめ直してみましょう。我が国の経済は、大きな視点で捉えるとアベノミクスと言われる大規模な経済戦略により著しい回復基調にあります。その効果は大都市や大企業に限られ、私たちが住まう地方都市や中小企業には目に見える実感として波及していないのが現状です。そのような状況の中、会員一人ひとりが活動できる時間は限られ、また、会員数の減少にも拍車がかかっており、私たちは本当に地域社会に貢献するJC運動ができているのでしょうか。日々の活動に追われ、私たち自身の組織運営を優先している現状があるように思えます。伝統を継承していくことは、私たち現役会員にとっては大切なことです。しかし、伝統や歴史を重んじるという言葉がまるで合言葉のように使われ、組織運営や事業の本質が理解できず、習慣や手法論ばかりに気をとられている現状があることは否定できません。偏った手法にとられ、本来受け継がねばならない本質からはずれてしまうのではなく、私たちの財産である経験や知恵を十分に活かす必要があります。

だからこそ、今後も豊岡青年会議所が地域社会に求められ、市民に信頼される組織として存在し続けるためにも、時代や環境に合った「変化」という成長をしていかなければなりません。「変化」を恐れず挑戦することこそが私たち青年の役目なのです。人生の中で限られた時間、青年会議所という組織の中で活動する機会を得たのであれば、「理想」という「今」考えられる最高の組織を目指し、進化していく必要があるのです。

私たちの使命は、このまちに住み暮らす人々と共にまちの未来に夢を持ち、その夢に向かって挑戦していけるような社会を創造することです。人と人とのつながり、人と地域とのつながりを大切に、まちの理想の姿を思

い描き、誇りと愛着を持って新たな価値を創出することで魅力ある運動を展開していきます。

本年度の委員会構成は、以下の4つの委員会と2つの特別委員会で取り組んでいきます。

・ 総務委員会

要の委員会として各委員会と連携し、円滑かつ効率的な運営を行い、LOMの継続的な発展につなげます。また、広報誌「絆」の充実を図ると共に、メディアを通じてLOMの活動を広く発信していきます。

・ 国際関係委員会

大韓民国全州青年会議所との交流を行います。また、姉妹締結50周年に向けた交流のあり方について調査・研究を行います。

・ 指導力開発委員会

会員相互の親睦やOB諸兄との交流を推進すると共に、連綿と受け継がれてきた豊岡JCの気風を継承し、会員としての資質向上を図ります。また、上部組織、各種団体、各地青年会議所との交流の窓口になります。

・ 理想の未来創造委員会

市民のまちづくりに対する参画意識を高め、新たな価値を創出することで理想のまちの未来を創造します。

※ 会員拡大特別委員会

会員の拡大は、豊岡青年会議所が「豊岡JCらしさ」を守り活動を行っていく上で、最も重要な事項であると捉え、情熱と誠意を持って青年会議所の魅力を伝えられるよう意識の高揚を図ると共に、LOM一丸となって取り組めるよう務めます。

※ 55周年準備特別委員会

各委員会と調整を図りながら、「重要な2016年」を成功に導くために必要な調査・研究を行います。

2016年、私たち豊岡青年会議所は、創立55周年という大きな節目を迎えると同時に、第49回ブロック大会を主管させていただくことになりました。豊岡青年会議所にとって、また、但馬・豊岡においても、未来への礎となる重要な年であると捉え、本年度はしっかりとした準備を進めていかななくてはなりません。私たち豊岡青年会議所が、この「重要な2016年」に挑戦することは、大きな喜びであり、会員一人ひとりの資質を向上させる最高のステージになるのです。組織運営や地域社会に貢献するために人財の育成は大切なことですが、個人が修練を重ねることで組織を成長させるというよりも、組織として崇高な志や大きな目標を掲げるからこそ、会員は自己研鑽を積み組織が活性化され、組織の成長につながるのだと考えています。自分一人ではできないことも、仲間を信じ共に歩むことで、LOMの可能性は広がり、まちの未来をも変えられる大きな力となるはずです。

そして、私たちが決して忘れてはならないのが「修練・奉仕・友情」という「JC三信条」の実践です。青年会議所では、出会いと修練を与えてくれる多くの機会があります。その機会を活かし、JCの素晴らしさを肌で感じることで自己の成長につなげ、培った力を出し惜しみすることなく地域社会への奉仕に発揮していくのです。そして、すべての活動を通じて、一生の宝物となるかけがえのない友情を育てていきましょう。

輝かしい未来のために、次代を担う子ども達のために。

連綿と受け継がれてきた誇りある豊岡JC魂と会員の情熱を結集させ、一片も妥協することなく、歩みを進めてまいりましょう。「今」を大切に。